

1 施設の概況

昨年度の入所は、立ち退き、暴力の逃避に続き、自立生活困難、親族不和等を理由にした利用が多く、退所は、居宅移管を理由にアパート転宅が多数を占めた。今年度も、前年度と同様な理由での入退所が多いと予測し、柔軟な体制で利用者を受け入れる。

利用者支援は、利用者の希望、実施機関の方針に基づき、利用者の了承、実施機関や関係機関と連携を行い、包括的施設支援事業の各種事業を活用して支援を展開する。

施設運営は、即時の入所依頼に対応できるよう、速やかに居室を整備し受入体制を維持する。また、防災訓練や施設設備点検等を行い、災害に強い施設作りを推進する。

更に、運営予算を適切に執行管理して、利用者の生活に潤いを提供できる施設行事の実施、生活環境に配慮した施設整備を行い、利用者が安心・安全に暮らせる運営を実施する。

地域関係は、施設の多目的室を住民に貸し出して地域交流を行うとともに、町会主催の地域の祭りへ参加して住民との交流を深め、良好な地域関係を形成する。また、災害協定を締結している町会主催の防災訓練に参加して、地域や施設の災害対策を行なう。

当施設は「明るく・笑顔で・丁寧に」を理念に掲げ、利用者との関係作りをしており、今年度も、この理念を掲げ、利用者に対して、親身・親切に関わり支援を実践する。

2 主要目標と取組

- (1) 利用者の安心と安全に配慮した施設運営を実施する。
- (2) 利用者の世帯状況を把握した支援を行い、施設の利用目的に応じた支援を行う。
- (3) 包括的施設支援事業を活用して利用者サービスを実施する。
- (4) 随時、速やかに居室整備を行い、即時の利用依頼に対応できる体制を維持する。
- (5) 地元町会等との交流を促進した行事を行い、地域貢献の実践及び強化を図る。
- (6) 年間入所目標（対定員利用率）（定員に社会復帰促進事業 5 世帯を含む）

定員	30 年度目標	29 年度目標	29 年度実績(見込)
40 世帯 75 人	80 世帯 (200.0%)	80 世帯 (200.0%)	77 世帯 (192.5%)

3 管理運営

(1) 日常の援助

- ① 毎朝の安否確認・普段の声がけ等による心身の健康状態把握及び事故の防止
- ② 個別支援計画に基づく、利用者の主体性を尊重した支援の推進
- ③ 利用者の世帯状況に応じて包括的施設支援事業の各種事業を活用した支援の実施
- ④ 施設独自事業のカウンセリングを活用した、心のサポートを推進
- ⑤ 多様化した利用者ニーズに応えるため、利用者支援手引きを活用した支援の展開
- ⑥ 個人情報保護の徹底・苦情解決制度の公正な運用及び多種多様な相談への対応
- ⑦ DV被害を受けた利用者への安全確保の徹底及び支援の充実
- ⑧ 利用者を対象にしたアンケート調査実施によるニーズ把握
- ⑨ 実施機関を対象にしたアンケート調査の実施（年度内中）

(2) 自立促進・入退所の促進

- ① 実施機関と連絡を密に行なって連携を強め、入所世帯の向上
- ② 関係機関（実施機関・病院等）と連携した自立支援の推進及び退所の促進
- ③ 包括的施設支援事業（利用者支援事業の各種支援）を活用した地域移行の推進
- ④ 都営住宅・福祉施策等の住宅提供・手続等の支援
- ⑤ 退所者に対して、施設行事（ショウブまつり・演芸会・アロマテラピークラブ等）の参加を呼びかけ、地域移行後の支援の実施

(3) 諸行事

利用者懇談会（年 6 回） クリーンデイ（年 12 回） カウンセリング（年 22 回）
 保健栄養相談（年 24 回） アロマテラピークラブ（年 12 回）
 こどもの日（5 月） ショウブまつり（6 月） 七夕まつり（7 月）

クラフト会（12月）クリスマス会（12月）大掃除・正月用品配布（12月）
演芸会（3月）ひなまつり（3月）

（4）防災関係

- ① 防犯カメラの活用による不審者対策の実施と部外者の立入禁止の徹底
- ② 消防避難訓練の実施（年6回 火災、地震、水害訓練、防災館体験）
- ③ 事業継続計画（BCP）を活用した、災害に強い施設作りの推進
- ④ 防災用設備点検（年2回）、防災備蓄品及び非常持出袋の点検と補充（年1回）
- ⑤ 地元町会の防災訓練への参加（年1回）

（5）職員会議等

- ① 施設運営・利用者状況の情報を共有化・意見交換の実施（毎朝・随時）
- ② 管理人に対し、施設管理や簡易な利用者対応の引継を実施（朝と夕の1日2回）
- ③ 支援会議（年12回）職員会議（年6回）の実施
- ④ ケースカンファレンスを実施し、利用者支援の充実と職員のスキルアップの促進

（6）その他

- ① 各種研修会への参加促進と研修報告にて情報の共有化の推進
- ② 各種関係機関から収集した情報を共有化し、施設運営と利用者支援を促進
- ③ 所長会や寮長会等の報告から、法人内の状況を知り、施設運営の充実を図る。

4 保健衛生・環境整備

（1）保健衛生

- ① 包括的施設支援事業（利用者支援事業の健康増進支援）を活用した健康管理の実施
- ② 消毒薬やマスク・防虫スプレーを置き、感染症予防の推進
- ③ 各種の感染症予防ポスターの掲示、利用者懇談会や安否確認時に予防を周知
- ④ 防虫消毒の実施（年2回）

（2）環境整備

- ① 退所時や居室点検による居室の使用状況の把握
- ② 利用者用の貸出用品及び支給品の充実
- ③ 利用者へゴミの分別を呼びかけ、地元区の資源回収事業へも協力
- ④ ゴミステーション（2ヶ所）の管理及び施設玄関前の道路清掃（週4回）
- ⑤ 増圧給水設備点検（年1回）

5 施設の社会化（地域交流事業及び施設機能強化推進事業）

（1）地元町会との地域防災協定等による協力関係の維持

（2）地域交流事業や地域貢献事業をとおし、地域と共存する施設運営の展開

- ① 地元町会の行事に協力参加
・堀切南町会行事 桜まつり（4月） 防災訓練（10月）
- ② 地域交流行事
・葛飾荘行事 ショウブまつり（6月）クリスマス会（12月）演芸会（3月）
- ③ 地元区PTA連合会等の「子どもひまわり110番」への協力
- ④ 地域の諸団体へ多目的室の貸出
- ⑤ AEDの周知